

公表

事業所における自己評価結果(放課後デイサービス)

事業所名		公表日				
Blossamジュニア若葉台はるひ野教室 放課後等デイサービス		2025年 3 月 20 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	2	利用児の年齢や個々の発達に応じて、2つの部屋を利用して、2つのグループに分けて支援をしています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	7	利用児の発達に応じて、集団活動ではありますが、個別的に対応している場合もあります。	適切な人員配置をして参ります。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	5	トイレに可動式の手すりを設置しております。また、床は玄関からフラットになっています。生活空間は子どもに視覚的にわかりやすく提示しています。	活動プログラム等、お子様に合わせてより視覚化し、理解しやすいようにして参ります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	3	環境整備を進めています。各部屋は必要最低限の物のみで、刺激が少ない環境となっております。掃除は、日に複数回しており、消毒等も実施しています。	個別指導室に教材を置いているため、適宜見直しを進め、子どもたちが活動しやすい空間を整備して参ります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	11	3	気持ちを落ち着かせるため、あるいは一人で過ごしたい時など、個別の部屋や相談室を利用しています。	現在、環境整備を行っております。個別指導を行う部屋は教材・おもちゃ等の整理が不十分で、ヒヤリハットを誘発する恐れがあるため、今現在、子どもたちは使用していません。早急に環境整備を進めて参ります。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8	6	環境整備においては、日々進捗状況を共有し、PDCAサイクルを循環させています。	各人・組織夫々において目標設定と進捗管理が不十分の為、組織力を活かした生産性向上の取り組みと付加価値の創出度に少々課題あります。組織体系の見直し、各人の職責の見える化、職員全員に共有・目標に対する進捗管理を強化して参ります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	14	0	保護者様からのご意見はスタッフ間で周知し、必要に応じて話し合いを設けています。適宜、ご意見の改善工夫をしています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	1	適宜話し合いが行われています。	今後、職員面談の回数を増やしてまいります。その中で、業務として改善できるところを拾い上げ、職員間で話し合いを設けてまいります。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	8		第三者評価については今後検討してまいります。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	3	法定基準に基づいて行われています。また、個人の目的に合わせた研修や Blossam 本部からの定期的な研修を実施しています。	事業所単位でも研修が実施できるよう年間計画に組み入れて参ります。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	1	2024年11月に「2024年度 5領域による支援プログラム」の公表をしています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	14	0	保護者様にアセスメントシートを事前に記入していただき、ニーズを拾っています。	今後、会議の内容に事例検討及びケース会議を組み込み、業務時間等を工夫して参ります。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11	3	毎月、定期的に会議を行っています。	サービス提供会議が安定的に実施できるよう、業務時間等工夫してまいります。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	14	2	個別支援計画書は一括してファイリングすることで、支援前にはスタッフが計画書の内容を確認できるように工夫しています。	支援前後のスタッフミーティングの時間を利用して、サービス提供会議や個別支援計画書の共有を行ってまいります。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11	3		記録や日報の確認、リーダーからのきょうゆうなども含め、利用時の配慮事項等を各スタッフが把握していくことを周知して参ります。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	0		個別支援計画書には左記の4つのねらい及び支援内容を踏まえ、作成しております。今後とも具体的な内容を設定して質の高い支援を目指して参ります。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	14	2	各プログラムのリーダーを中心に、支援内容を立案しています。子どもの発達を鑑みながら「楽しい」と思える内容を提供しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	14	0	各プログラムのリーダーを中心に、季節に合った活動や行事を鑑みてプログラムを立案しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	7	現在個別活動は停止中ですが、自由時間や集団活動の中でも、職員からの適切な声掛けや、こどもの発達や心身の状態に即した役割や課題を提供するなど、個々の成長を促す工夫をしています。	今後、個別活動を再開できるよう調整して参ります。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	14	0	支援前にはスタッフ全員で個別支援計画書や配慮事項の共有を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	0	支援終了後にはスタッフ全員で集まり、支援の振り返りを行っています。その中で「今後の支援」に繋がる視点を見出しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	14	0	記録を作成して保護者様に公開しています。また、職員間のみで共有する記録も作成しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	14	2	個別支援計画書更新の際には、保護者面談を行っています。事前にモニタリングを行い、面談の際には保護者様にモニタリング内容を共有しています。	全体での話し合いの時間をさらに設けて参ります。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	13	1	複数組み合わせ支援を行っております。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	14	0	自主活動を取り入れています。	環境設定を工夫し、さらに自己選択の幅を広げて参ります。
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	14	0	障害児相談支援事業所のご担当者様には概ねお電話にてモニタリングを行っています。その際には、活動のリーダーや児発管などが対応しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	13	1	必要に応じて学校や他事業所と連携をしながら支援を進めております。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	13	1	学校から配布されるお手紙等をもとに確認して連絡調整を行っております。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11	3		必要に応じて情報共有を進めて参ります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8	6	今年度は対象児童はおりませんでした。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	8	6	療育センターが主催する研修会に参加、または療育センター併用児の見学等にお伺いし、必要に応じて助言等を受けています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	10	4		放課後児童クラブや児童館との情報交換を深め、インクルーシブの視点のもと、他の子どもたちと交流する機会を設けて参ります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	10	4	参加しております。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	0	当事業所の支援の様子は、システムを使って写真添付で保護者様に公開しています。また、ご来所の際にはコミュニケーションを取りながら、保護者様との共通理解を深めています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	7		今後、ペアレントトレーニングの開催を検討して参ります。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	0	ご契約の際には、運営規定、支援プログラム、利用者負担等の説明を行っています。	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	14	0	個別支援計画書作成の前は保護者様とご面談を設けております。その際、保護者様のご意向や「本人希望」等を伺い、計画書に反映しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	14	0	計画書作成後は対面、お電話等で説明しています。ご同意いただき支援を行っています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	14	0	日頃からコミュニケーションを深めるとともに、事業所内にて「家族支援」として面談等の機会があることを周知しています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	7	7		今現在は行っておりません。保護者会、きょうだい支援を今後検討して参ります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	14	0		今年度は対象事業がありませんでした。ご利用者様から苦情があった場合は迅速かつ適切に対応して参ります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	14	0	活動内容など、適宜ブログで配信しています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	14	0	個人情報は施錠しているロッカーに保管するとともに、日頃から取り扱いには十分に留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	14	0	保護者様との情報伝達は、電話、メール、文章などを使っています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	10		事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営は現在行っておりません。今後、営業時間外での施設開放を検討して参ります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	1	感染症対策の「嘔吐処理」のロールプレーを行い、処理対応の訓練を実施しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	1	BCPをもとに、防災訓練、避難訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10	4	契約時に左記内容をヒヤリングしています。また、保護者様から適宜聞き取りなどをして確認しています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11	3	医師の指示書の提出はありませんが、保護者様にアレルギー等を確認して、食育活動の際には必ず確認をしています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10	4	安全計画のもと、法定研修や委員会を実施しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	11	3	広域災害時の避難場所及び情報伝達の方法など契約時に説明しています。また、計画に基づき訓練を行い、保護者様に周知しています。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	14	0	日々の支援終了後、ヒヤリハットを確認しています。	今後、ヒヤリハットを分析して再発防止に努めて参ります。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	14	0	年に複数回、虐待研修及び虐待防止委員会を実施して、適切な対応や関わりをしています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	14	0	身体拘束適正化委員会を実施して、「やむを得ない場合」について話し合っています。また、契約時には十分に説明して計画書に記載しています。	